



# 2016年3月期 決算説明会

ケンコーマヨネーズ株式会社

2016年 5月 19日



①. 2016年3月期 決算の概況

②. 中期経営計画

「KENKO Five Code 2015-2017」

～輝く未来のために～

③. 2017年3月期 業績予想

# ①. 2016年3月期 決算の概況

取締役 常務執行役員  
村田 隆

# 1. 2016年3月期 食品業界動向

①. 2016年3月期 決算の概況



## 外食産業

- ・ 2015年後半に回復し、売上高は2年ぶりに前年を上回る結果に
- ・ ファストフード市場では、大手企業のマイナスの影響もある反面、売上高と客単価は、前年度を上回った
- ・ ファミリーレストランや焼肉、ディナーレストランは引き続き好調

## スーパー マーケット

- ・ 食品スーパーの売上は堅調
- ・ 総菜売り場は前年の売上高を上回り、好調に推移
- ・ イベントや季節商材での使用、出来立てを提供するなどの取り組み強化の成果が出ている一方で、人手不足が懸念されている

## コンビニエンス ストア (CVS)

- ・ 売上高、店舗数、来客者数、客単価すべてにおいて、前期比プラスで推移
- ・ 少子高齢化の進行、単身世帯や有職女性の増加に伴う個食・簡単需要の増加、嗜好の多様化により、淹れたてコーヒーを含むカウンター商材や弁当・調理麺、総菜等の中食が好調に推移

## 2. 2016年3月期 決算の概況（連結）

①. 2016年3月期 決算の概況



### 5期連続の増収、4期連続の過去最高売上高の更新

**売上高 669億33百万円**（前年同期比：+11.0%、予想比：+1.4%）

- サラダ類、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ類のいずれも順調に伸長
- 分野を細分化した業態別の個別対策によるきめ細やかな対応により増収
- 小型形態のロングライフサラダの採用が加速

### 過去最高益を更新

**経常利益 34億26百万円**（前年同期比：+23.4%、予想比：+3.8%）

- 売上高アップ、高付加価値商品の増加
- 静岡富士山工場の操業度アップによる効果
- 連結子会社のフレッシュ総菜が順調に売上を伸ばし利益増に寄与

**売上高 営業利益 経常利益 当期純利益**  
**いずれも過去最高を更新**

### 3. 2016年3月期 業績（連結）



①. 2016年3月期 決算の概況

#### 連結損益計算書の概要

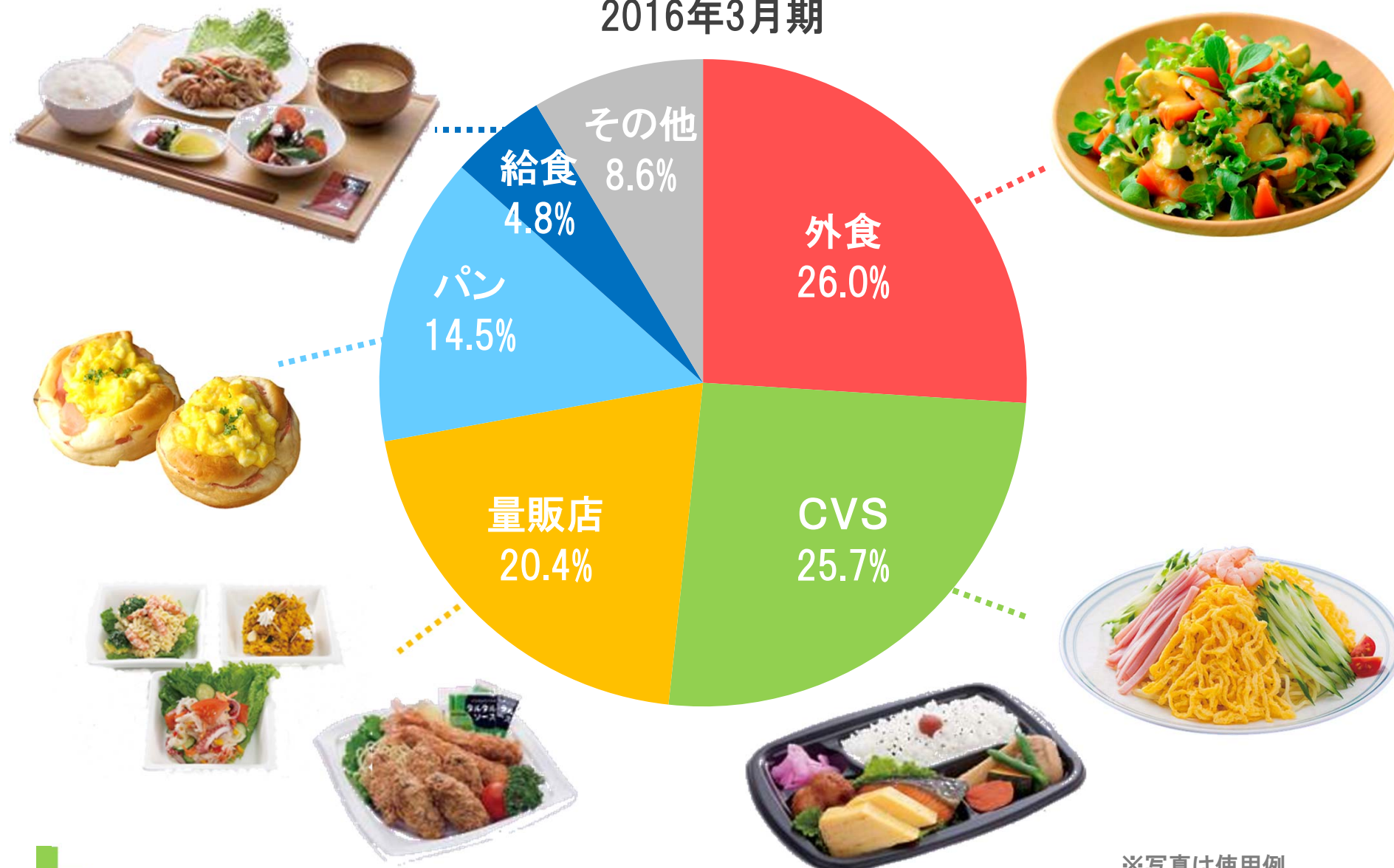
単位:百万円	2015年3月期	2016年3月期			2016年3月期予想 (2016/2/8発表)
	金額	金額	前期比	予想比	金額
売上高	60,327	66,933	11.0%	1.4%	66,000
売上総利益	15,718	17,244	9.7%	—	—
%	26.1%	25.8%			
販売管理費	12,717	13,807	8.6%	—	—
営業利益	3,001	3,436	14.5%	3.5%	3,320
%	5.0%	5.1%			5.0%
経常利益	2,776	3,426	23.4%	3.8%	3,300
%	4.6%	5.1%			5.0%
税金等調整前当期純利益	2,793	2,767	△1.0%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,642	2,085	27.0%	8.1%	1,930
%	2.7%	3.1%			2.9%
1株当たり当期純利益	115円57銭	146円76銭			135円81銭

# 4. 分野別売上高構成比（連結）



①. 2016年3月期 決算の概況

## 2016年3月期

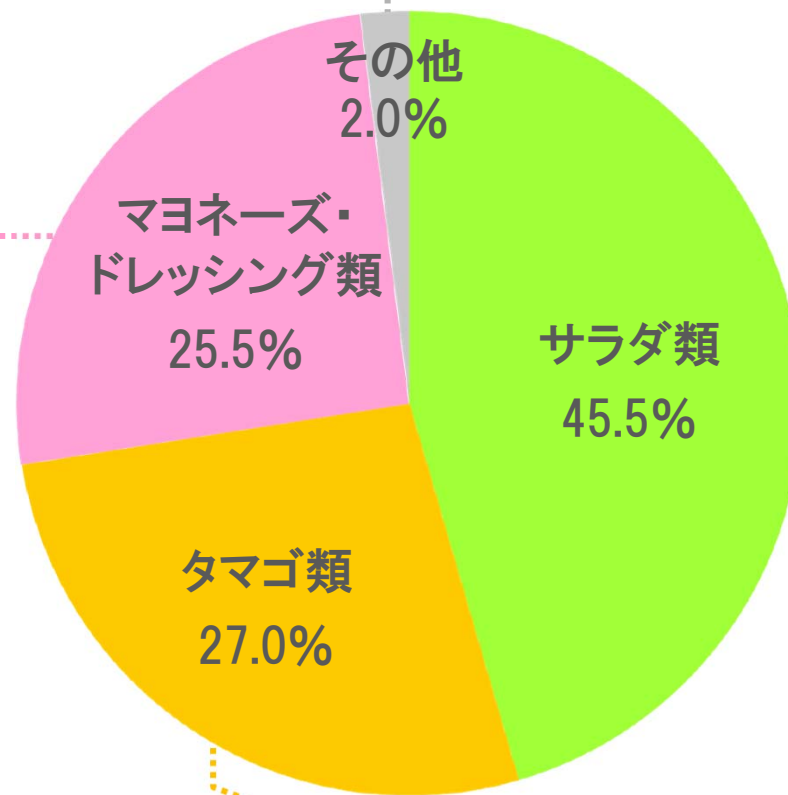


# 5. 商材別売上高構成比（連結）



①. 2016年3月期 決算の概況

2016年3月期



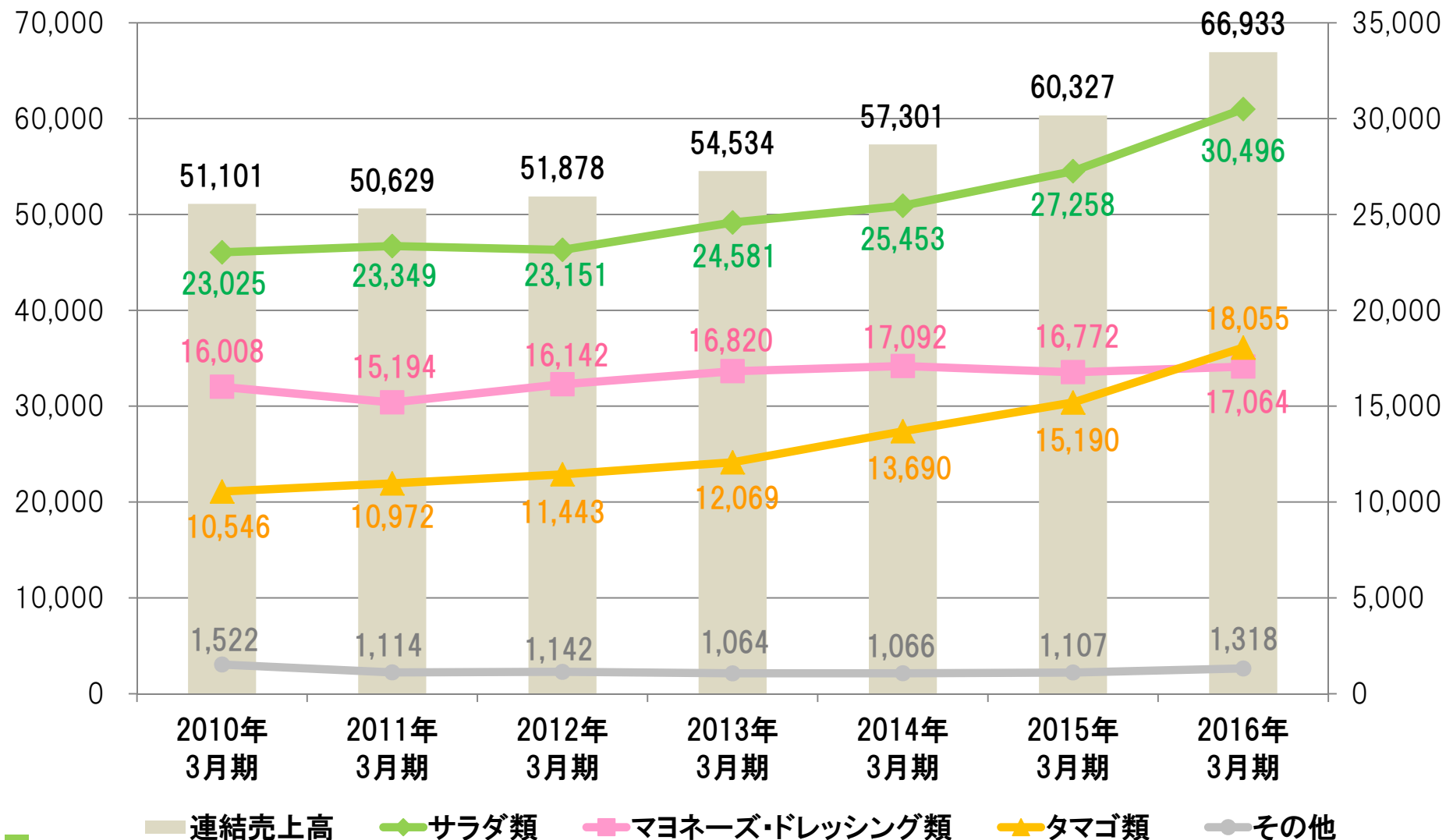
## 6. 商材別 売上高推移 (連結)

①. 2016年3月期 決算の概況



連結売上高  
単位:百万円

商材別売上高  
単位:百万円



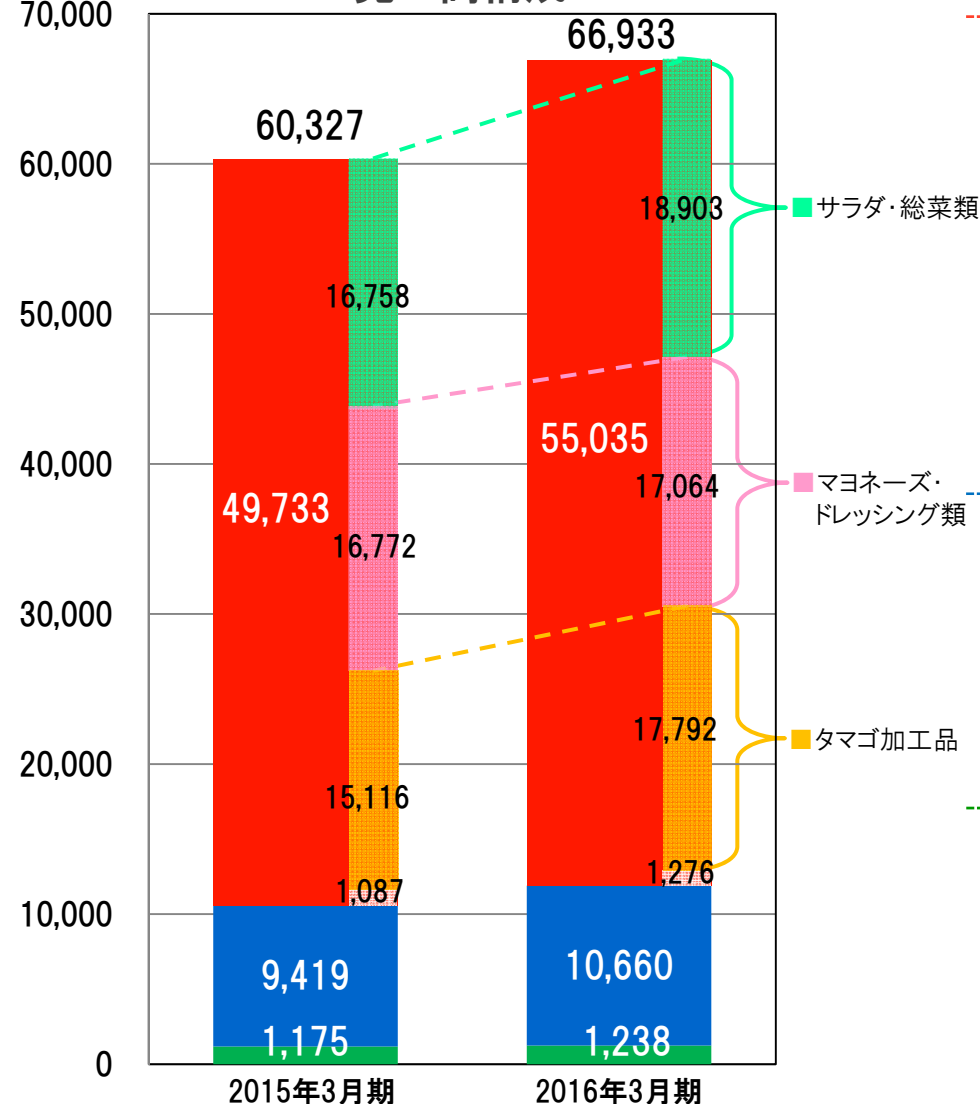
# 7. 事業別売上高概況（連結）



①. 2016年3月期 決算の概況

単位：百万円  
70,000

## 売上高構成



### ■ 調味料・加工食品事業（前期比+10.7%）

< サラダ・総菜類、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品 >

- 販売重量：前期比増↗（+9.1%）
- 販売単価：前期比増↗（+5.5円/kg）

● 商材別前期比	売上高	販売重量
サラダ・総菜類	+12.8%	+9.4%
マヨネーズ・ドレッシング類	+1.7%	+4.2%
タマゴ加工品	+17.7%	+15.5%

### ■ 総菜関連事業等（前期比+13.2%）

< フレッシュ総菜(日配サラダ、総菜)、グループ内生産受託 >

- 食品スーパー向けにポテトサラダやマカロニサラダ、明太子やタマゴを使用したパスタ商品が新規採用
- 北海道エリア限定のカット野菜が大幅に伸長

### ■ その他（前期比+5.4%）

< ショップ事業(Salad Cafe)および海外事業※ >

- 2015年4月：「Salad Cafe ルミネ立川店」OPEN
- 2016年3月：「WaSaRa 近鉄あべのハルカス店」OPEN  
⇒和×サラダの新ブランド誕生
- 「サラダカフェ サラダ料理講習会」

東京・大阪にて全12回開催

■ 調味料・加工食品事業 ■ 総菜関連事業等 ■ その他

Copyright (C) 2016 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

※ 海外事業は、持分法適用会社のため売上高には含まれません

## 8. 事業別売上高・セグメント利益（連結）

①. 2016年3月期 決算の概況



単位：百万円

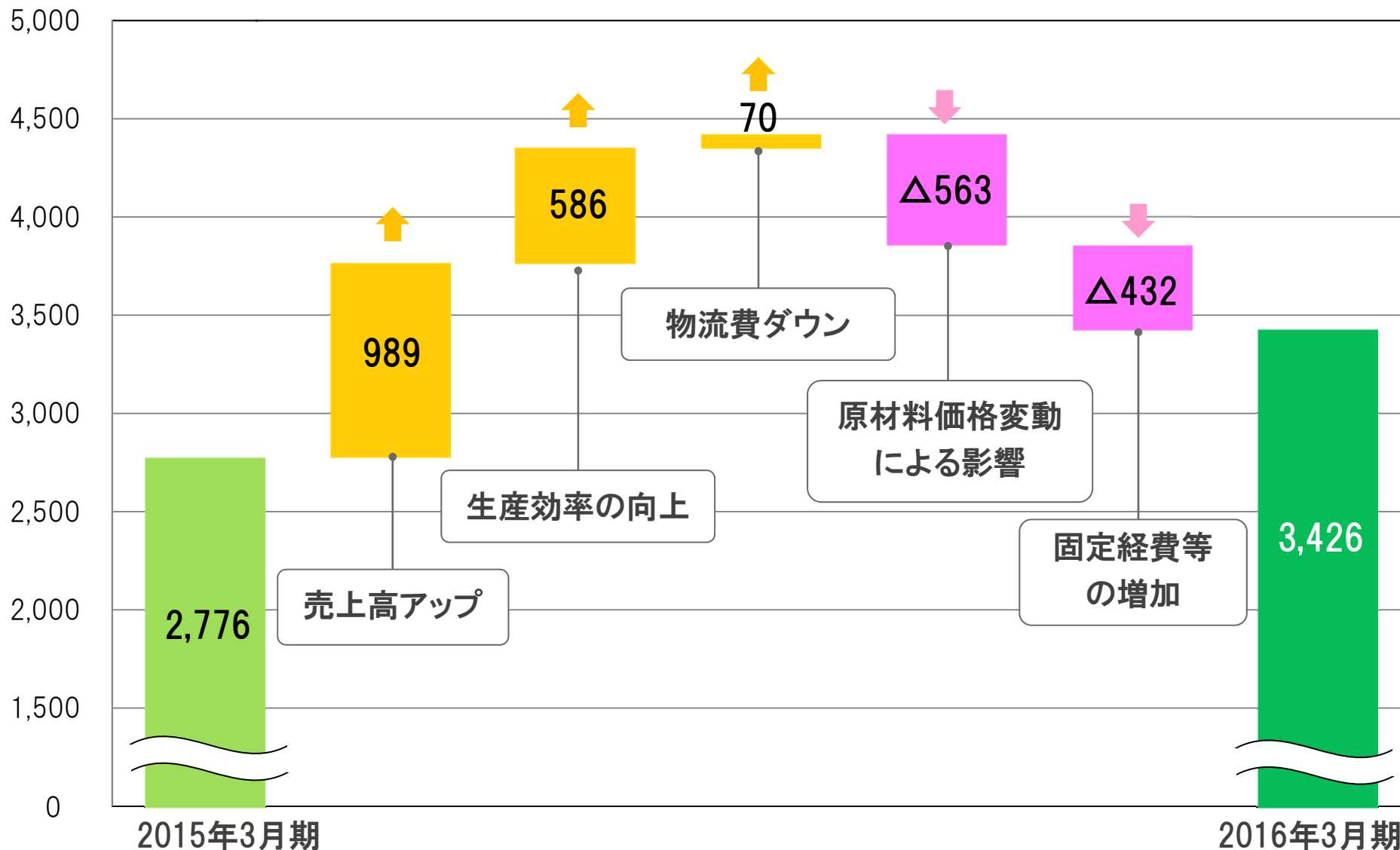
	2015年3月期	2016年3月期	前期比	
			増減	%
売上高	60,327	66,933	6,605	11.0%
調味料・加工食品事業	49,733	55,035	5,301	10.7%
総菜関連事業等	9,419	10,660	1,241	13.2%
その他	1,175	1,238	62	5.4%
セグメント利益	2,776	3,426	650	23.4%
調味料・加工食品事業	2,648	2,862	214	8.1%
総菜関連事業等	348	645	297	85.4%
その他	△229	△77	152	—
調整額	9	△4	△13	—

# 9. 経常利益増減要因（連結）



①. 2016年3月期 決算の概況

単位:百万円



## 10. 貸借対照表の概要（連結）

①. 2016年3月期 決算の概況



単位：百万円

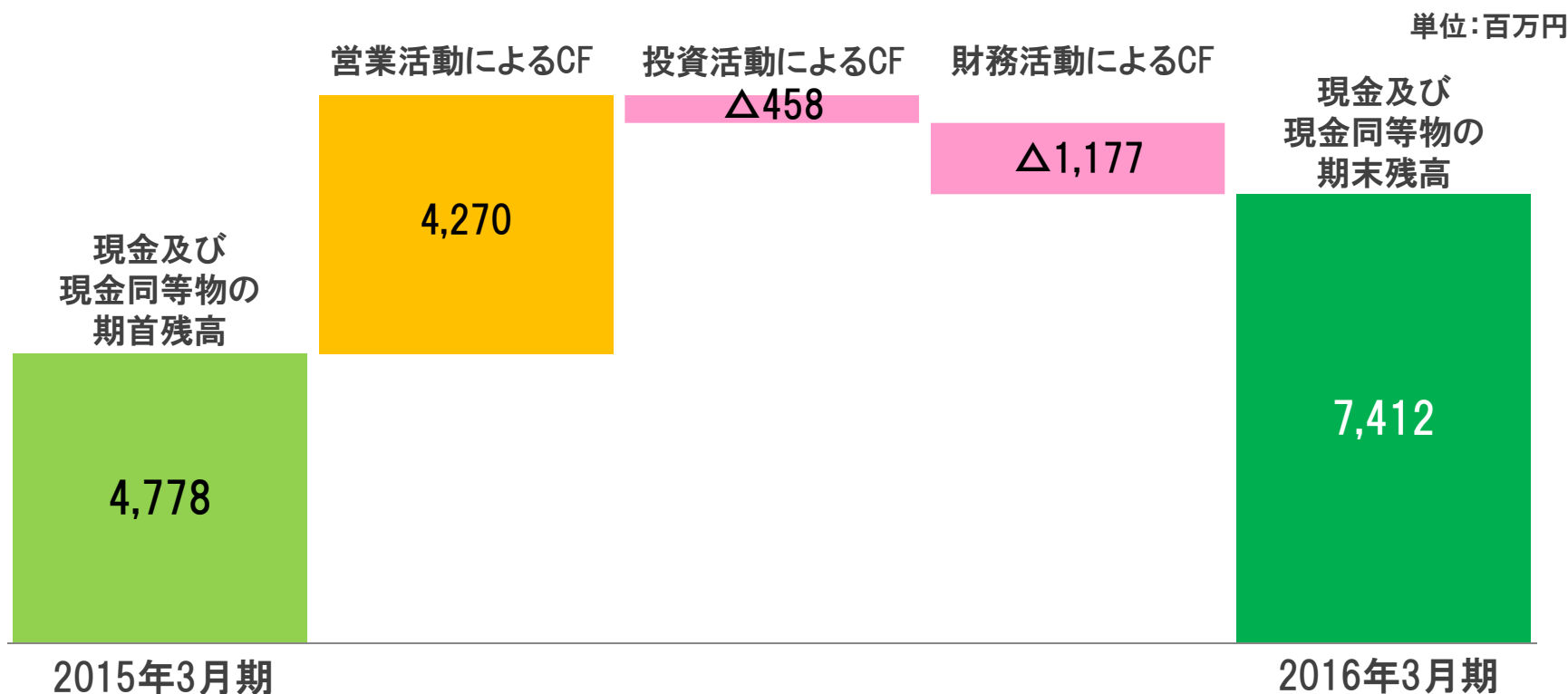
		2015年3月期	2016年3月期	増 減	前年度末比
* 長期未払金を含む					
資 産	流動資産	18,704	21,836	3,131	16.7%
	固定資産	20,744	20,469	△274	△1.3%
資産合計		39,448	42,306	2,857	7.2%
負 債	うち有利子負債残高 *	8,584	7,617	△967	△11.3
		21,481	22,994	1,513	7.0%
純資産		17,967	19,311	1,343	7.5%
負債・純資産合計		39,448	42,306	2,857	7.2%
1株当たり純資産		1,264円38銭	1,358円94銭	94円56銭	7.5%
自己資本比率		45.5%	45.6%	0.1%	—

- 純資産は、内部留保の蓄積等により1,343百万円増加、自己資本比率も+0.1%の45.6%となった
- 有利子負債は、967百万円減と着実に返済が進む

# 11. キャッシュフローの概要（連結）



①. 2016年3月期 決算の概況



- 営業CF：収益力アップおよび償却費増等により増加
  - 投資CF：生産能力増強に向けての投資によるもの
  - 財務CF：有利子負債の返済によるもの
- ⇒ 現預金残高は7,412百万円まで増加（今後の成長資金の一部に充当）

## ②. 「KENKO Five Code 2015-2017」 ～輝く未来のために～

代表取締役社長 炭井 孝志

# 1. 「KENKO Five Code 2015-2017」 《5つの指針》

②. KENKO Five Code 2015-2017



## 2. 「KENKO Five Code 2015-2017」 《経営戦略》

②. KENKO Five Code 2015-2017



中期経営計画 2015年度～2017年度

# 『KENKO Five Code 2015-2017』

Globalization  
世界的拡大

Innovation  
革新

Best practice  
最良実施

Knowledge  
management  
知識管理

Communication  
コミュニケーション  
(ブランド育成)

1 『サラダNo.1 (Leading company)』のポジションを確立

2 「サラダ料理」の更なる進化

3 グローバル市場への積極展開を進める経営基盤強化

### 3. 「KENKO Five Code 2015-2017」 《目標》

②. KENKO Five Code 2015-2017



中期経営計画 2015年度～2017年度  
『KENKO Five Code 2015-2017』  
2017年度 目標

1

連結売上高 750億円  
連結経常利益率 5%

2

自己資本比率 50%

3

ROE 8%以上をキープ

## 4. 『サラダNo.1 (Leading company)』のポジションを確立①

②. KENKO Five Code 2015-2017



### マヨネーズ・ドレッシング事業

- 2015年度実績
  - ・新ブランドの誕生  
「世界を旅するドレッシング™」
  - ・CVSや量販店向けにマヨネーズが伸長



- 2017年度に向けて
  - ・「世界を旅するドレッシング™」シリーズの拡充
  - ・健康訴求・機能性を付加した商品の拡充

### TOPICS 「ドレッシングの日」制定

8月24日は「ドレッシングの日」

- ・ドレッシングの利用方法が多様化
- ・幅広い活用方法やメニュー提案から豊かな食生活をご提案

### ●ドレッシングライン増強

- 西日本工場 No.2ライン (2016年6月稼働予定)
- ・味や品質の向上
  - ・賞味期間延長
  - ・容器変更
  - ・フレキシブルな形態対応(マルチ充填)

### サラダ・総菜事業

- 2015年度実績
  - ・「和彩万菜®」シリーズ3品追加(全6品)
  - ・CVS向け小型形態のロングライフサラダアイテム数増加

- 2017年度に向けて
  - ・「和彩万菜®」のシリーズの拡充
  - ・やわらか食、小型形態への対応
  - ・新規素材の開拓

### TOPICS 新たな販路に向けた商品の開発

ピリ辛肉ミンチ 2016年3月15日発売

豚挽肉と牛挽肉をじっくりと炒めて旨味を引き出し、豆板醤、唐辛子、山椒で辛味を効かせた一品



### ●ロングライフサラダライン増強

- 御殿場工場 新ライン (2016年4月稼働開始)
- ・インフラ整備
  - ・多品種・多形態生産への対応

## 4. 『サラダNo.1 (Leading company)』のポジションを確立②

②. KENKO Five Code 2015-2017



### ポテト事業

#### ● 2015年度実績

- ・付加価値のある商品の強化  
「まるごと北海道<sup>®</sup> チーズポテトサラダ」  
「手作り風 ポテサラ<sup>®</sup>」発売
- ・当社グループ総合フェア「Neo ポテト World」コーナー  
→オリジナルポテトサラダ料理のご提案



#### ● 2017年度に向けて

- ・素材系や「北海道」ブランドの商品開発
- ・メニュー提案の強化
- ・当社グループ間での商品・メニュー化の強化

#### TOPICS

#### シーン提案の強化

#### メインディッシュとしてのポテト料理の提案

副菜としてだけでなく、メインディッシュの商材として提案できるようニーズを探り、ポテト製品の商品化・メニュー開発を強化

#### ● 小型ポテトサラダライン増強

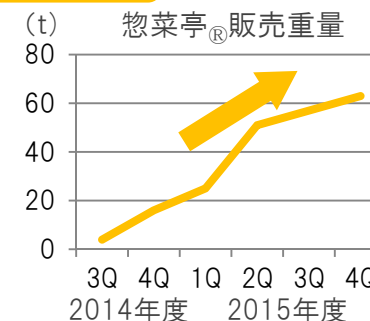
山梨サラダ工場 (2016年1月稼働開始)

100g前後のポテトサラダ製造ラインの増強

### たまご事業

#### ● 2015年度実績

- ・「惣菜亭<sup>®</sup>」シリーズ(全14品)  
味・品質の評価が高く  
引き続き好調に推移
- ・CVSや回転寿司向けに厚焼き  
卵・だし巻き卵が大幅に伸長



#### ● 2017年度に向けて

- ・「惣菜亭<sup>®</sup>」シリーズ拡充
- ・ニーズに合った商品開発

#### TOPICS

#### 「惣菜亭<sup>®</sup>」を使用したメニュー提案

#### 「卵焼きサンドイッチ」で市場演出

当社グループ総合フェアにて提案した「卵焼きサンドイッチ」がCVSや製パン向けに好評。さらなる市場拡大を目指す



#### ● たまご加工品設備の増強

静岡富士山工場 (2016年2月稼働開始)

- ・冷凍設備の増強
- ・スクランブルエッグラインの増強

## 5. 「サラダ料理」の更なる進化①

②. KENKO Five Code 2015-2017



### Salad Cafe

### ショップ展開

2015年4月

『Salad Cafe ルミネ立川店』OPEN

2016年3月

『WaSaRa 近鉄あべのハルカス店』OPEN

合計17店舗

### ● 新ブランド「WaSaRa」 **WaSaRa**

和の素材を活かした和サラダ専門ブランド。  
「和食」と「サラダ」を組み合わせた「和サラダ」を  
提案し、新しい和食の情報を発信。

### ● 「スーパーフード」メニューの展開

キヌアやチアシード、ケールを使用した  
メニューの開発



もち麦とキヌアのサラダ



ケール入りミモザ風サラダ



蒸し鶏 & キヌアの  
ジャーサラダ



### サラダ料理講習会

### 一般の方との交流・ファンづくり



### ■ 2015年度実績

◎ サラダカフェ サラダ料理講習会

▶ 東京・大阪にて 12回実施

◎ ケンちゃんのサラダ料理教室

▶ 東京にて 4回実施

### コラボレーション

### 「自遊庵 嗜み処」

2016年3月

三越日本橋本店に「自遊庵(じゆうあん)」オープン

▶ イートインスペース「自遊庵 嗜み処」

当社がレシピ & メニュー開発・提供・運営

## 5. 「サラダ料理」の更なる進化②

②. KENKO Five Code 2015-2017



### メディア:情報発信

### メニュー提案力の発信

#### ● ラジオ

2013年10月 放送開始

「サラダトーク～お仕事カフェ～」

放送100回を突破 (2015年9月)

ゲストへのサラダ料理提案:61メニュー (2016年3月末)

2016年2月29日～3月4日

ニッポン放送「ビジネスショウアップ」

▶ 当社の魅力を5日間にわたって放送



#### ● テレビ

2015年7月

BS12 TwellV「未来展望 ～トップリーダーの集い」

▶ ロングライフサラダの紹介

2015年8月

テレビ東京「L4You! Plus」

▶ 当社製品を使用したアレンジメニューの紹介



#### ● Web

2015年7月～10月

読売新聞YOMIURI ONLINE「大手小町」にて  
サラダカフェレシピの掲載

### Web

### 業態別や季節のレシピ、トレンド情報発信



レシピ掲載数:

約1,220レシピ

(2016年3月末)

### ◎サラダ料理コンテンツ

リニューアル予定 ▶ 「サラダ料理」の浸透を図る

### ブランディング

### プロダクトブランド強化



ドレッシング

ポテトサラダ



和惣菜

タマゴ加工品



各ブランドのコンセプトを明確化し  
社内外への浸透を図る

# 6. グローバル市場への積極展開を進める経営基盤強化①



②. KENKO Five Code 2015-2017

## ● インドネシア

### ◎ハラール認証商品の強化

2015年11月～

ハラール認証取得の冷凍食品の輸入開始



冷凍フィッシュパティ



冷凍サカナフライ



「冷凍フィッシュパティ」と「おマヨ」を使用したハンバーガー

### ◎2016年4月 ハラールマーケットフェア出展



■2016年度～  
・市場開拓＆  
ハラールの知識共有  
・メニュー提案の強化

## ● バンクーバーリサーチオフィス

◎2015年10月

「CONNECT Show」出展

「KENKO Mayonnaise “One Day”」開催



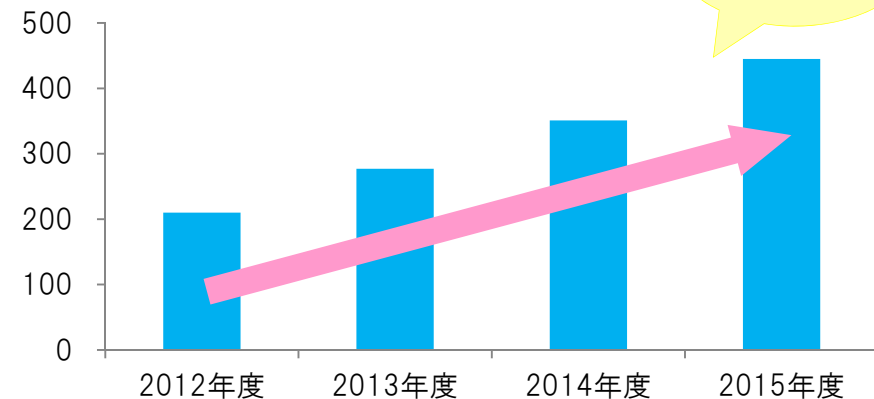
「CONNECT Show」



「KENKO Mayonnaise “One Day”」

## ● 輸出事業売上高

(百万円)



# 6. グローバル市場への積極展開を進める経営基盤強化②



②. KENKO Five Code 2015-2017

## ● 輸出事業

35の国と地域への輸出を実施（2016年3月現在）

### ヨーロッパ(10か国)

- ・イギリス
- ・オーストリア
- ・ロシア
- ・フランス
- ・オランダ
- ・デンマーク
- ・ドイツ
- ・ベラルーシ
- ・スイス
- ・ウクライナ

### アジア(19か国・地域)

- ・マカオ
- ・中国
- ・香港
- ・タイ
- ・フィリピン
- ・カンボジア
- ・シンガポール
- ・ミャンマー
- ・インド
- ・ベトナム
- ・台湾
- ・UAE
- ・インドネシア
- ・レバノン
- ・マレーシア
- ・イスラエル
- ・バーレーン
- ・カタール
- ・韓国

### オセアニア(3か国)

- ・オーストラリア
- ・ニュージーランド
- ・フィジー

### 北中米(3か国・地域)

- ・カナダ
- ・アメリカ  
(ハワイ・サイパンを含む)
- ・メキシコ

### ◎展示会への出展

ドバイや台湾、パリの展示会等 6回出展

▶ 当社名・当社製品の認知向上を図る



ロシア展示会  
(2015年10月)



ドバイ展示会  
(2016年2月)

### ■ 2016年度～

- ・賞味期間延長 → さらなる拡販を図る
- ・サラダ類(FDF<sup>®</sup>)や卵焼き等の販売強化

# 【トピックス】三越日本橋本店『自遊庵 嗜み処』

②. KENKO Five Code 2015-2017



## ケンコーマヨネーズグループ × 三越 × 女子栄養大学

新しい味覚と出会う創造の場

# 自遊庵

三越日本橋本店  
3月16日オープン



■5月18日～5月31日

<テーマ：「茶」>メニュー (一部)



ウーロン茶で煮たとろとろ煮豚  
～らっきょう生姜たれ～



手まり寿司 抹茶わさび添え



玄米茶のケーキと  
ほうじ茶のパナコッタ

●次回テーマ

6月1日～6月14日

「トマト」

6月15日～7月5日

「梅」

## ③. 2017年3月期 業績予想

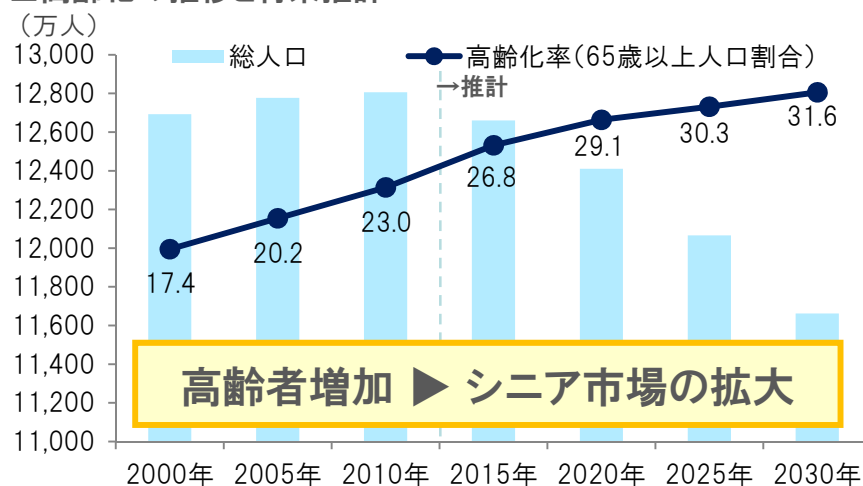
代表取締役社長 炭井 孝志

# 1. 業界を取り巻く環境



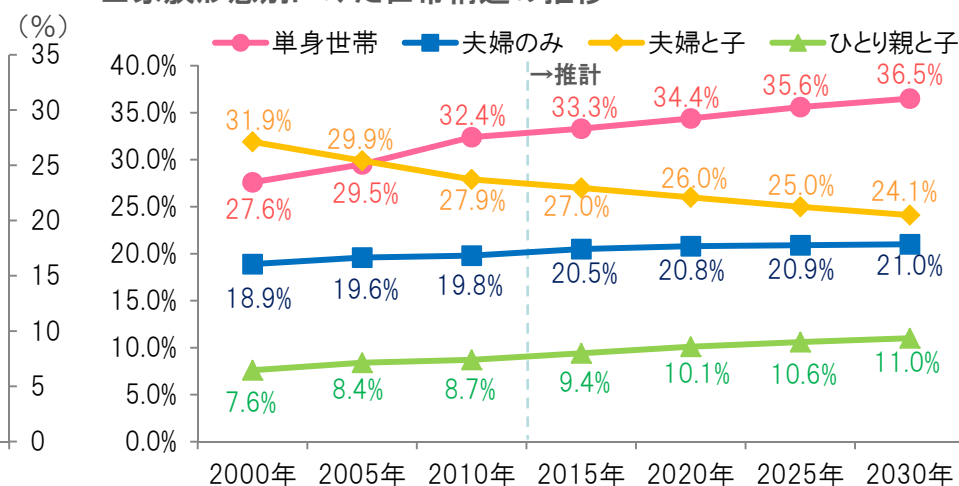
③. 2017年3月期 業績予想

■高齢化の推移と将来推計



高齢者増加 ▶ シニア市場の拡大

■家族形態別にみた世帯構造の推移



原材料・エネルギーコスト

左右されない環境作り

単身世帯・核家族化の進行

「個食化」「簡便化」  
家庭内調理の減少傾向

▶ 中食需要 ↗

東京オリンピック・パラリンピック開催

外国人観光客 ↗ インバウンド需要 ↗

健康・ヘルシー

高付加価値

安全・安心

「サラダ」切り口の需要 ↗

市場の動きや消費(者)動向の変化を読みながら  
商品開発や価格設定について柔軟な対応が必要

資料:2010年まで総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)の出生中位・死亡中位仮定による推計結果「日本の世帯数の将来推計」、厚生労働省「国民生活基礎調査」

## 2. 2017年3月期 業績予想（連結）

③. 2017年3月期 業績予想



「KENKO Five Code 2015-2017」の事業別の個別対策を確実に進め  
売上高は6期連続増収の700億円を、経常利益は過去最高益の35億円の確保を目指す

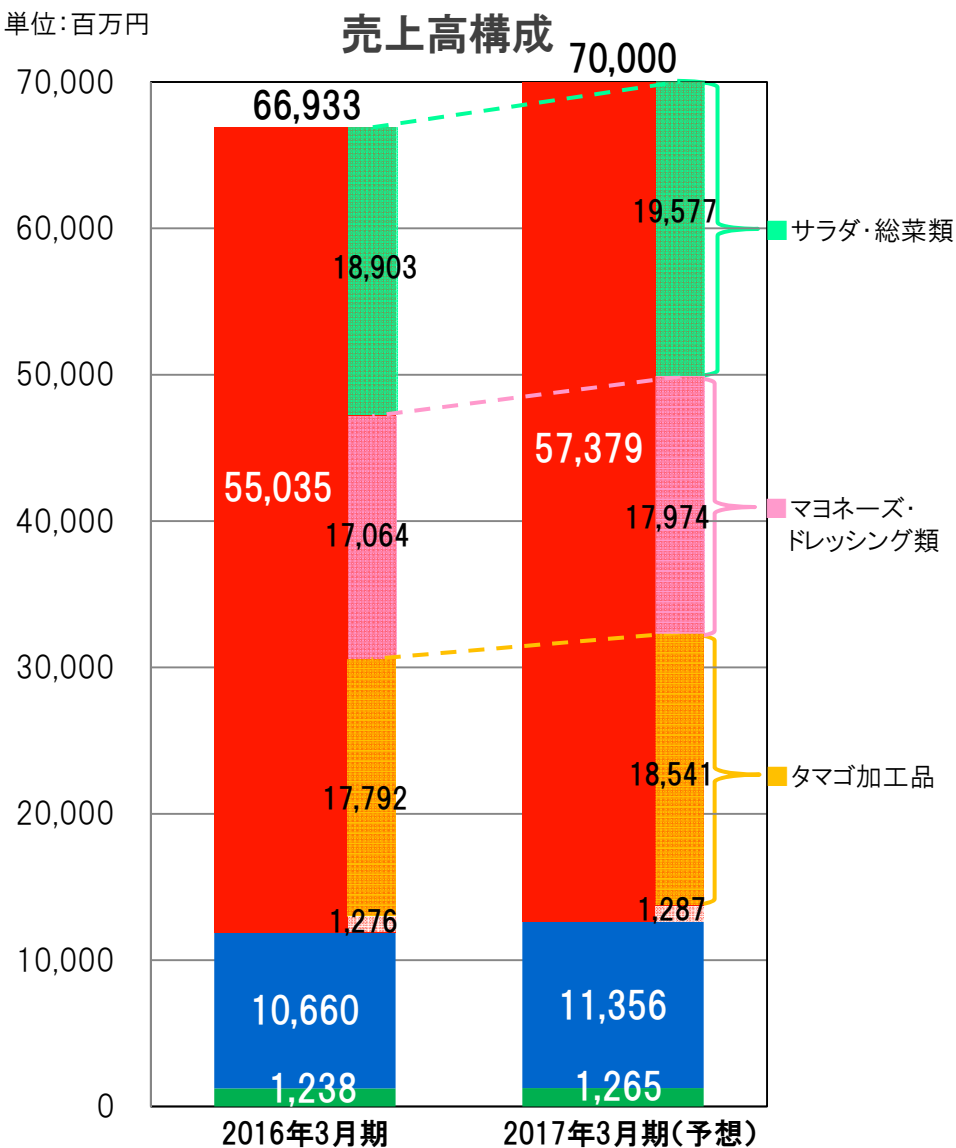
	2016年3月期 実績		2017年3月期 予想	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	66,933	11.0%	70,000	4.6%
売上総利益	17,244	9.7%	—	—
%	25.8%			
販売管理費	13,807	8.6%	—	—
営業利益	3,436	14.5%	3,450	0.4%
%	5.1%		4.9%	
経常利益	3,426	23.4%	3,500	2.1%
%	5.1%		5.0%	
税金等調整前当期純利益	2,767	△1.0%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,085	27.0%	2,130	2.1%
%	3.1%		3.0%	
1株当たり当期純利益	146円76銭		149円89銭	

### 3. 事業別売上高予想（連結）

③. 2017年3月期 業績予想



単位：百万円



■ 調味料・加工食品事業 ■ 総菜関連事業等 ■ その他

Copyright (C) 2016 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

#### ● ポイント

##### ① 分野別・業態別対策の取り組みの強化

販路拡大および市場ニーズに沿った商品形態の拡充

**サラダ** 量販店・CVS向け小型形態商品の充実

**マヨネーズ・ドレッシング** 海外市場の開拓(輸出事業)

**たまご** CVS・外食から量販店へも販路を拡大

##### ② 商品ラインナップの強化

機能性商品の拡充、商品シリーズの強化

**サラダ** 和惣菜(和彩万菜®)、500g～1kg形態の強化  
フレッシュ総菜、カット野菜(北海道限定)

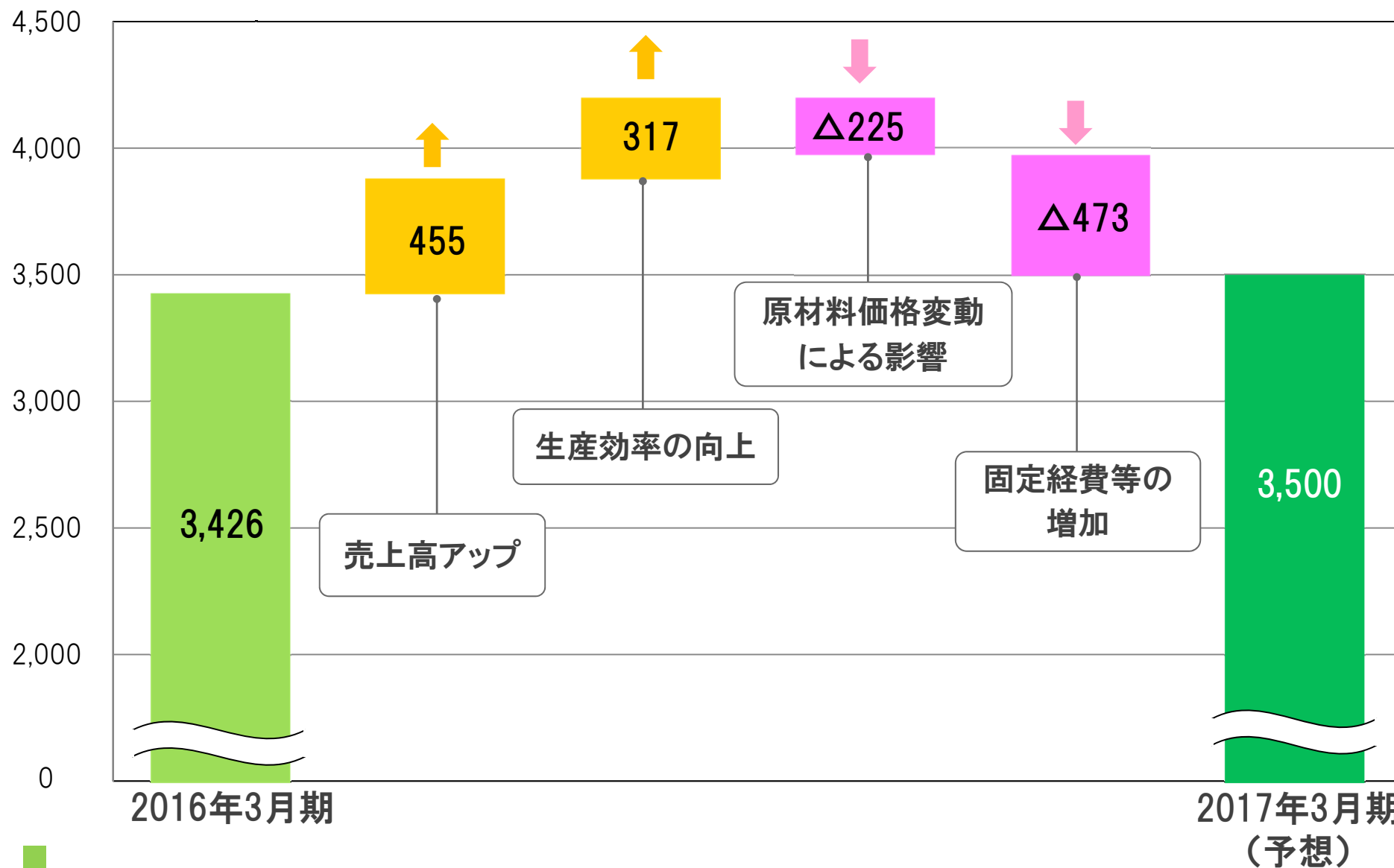
**マヨネーズ・ドレッシング** 「世界を旅するドレッシング™」シリーズ強化

# 4. 2017年3月期 経常利益増減予想（連結）



③. 2017年3月期 業績予想

単位：百万円



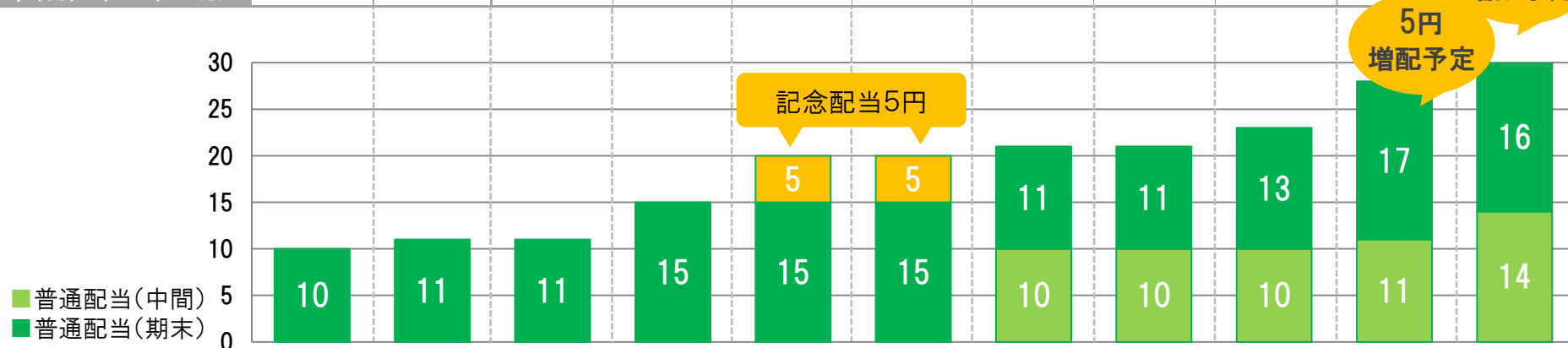
# 5. 配当政策・株主還元



③. 2017年3月期 業績予想

連結ベースでの配当性向20%を意識をし、配当の継続性に配慮しつつ、  
当社の今後の成長と発展にあわせ、安定配当水準を高めていく

	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期 (予想)	2017年 3月期 (予想)
配当金(円/株)	10	11	11	15	20※3	20※4	21	21	23	28	30
配当性向(%)	6.5	19.0	47.1	13.4	19.3	27.6	21.2	23.6	19.9	19.1	20.0
配当利回り(%) (ご参考) ※1	0.9	2.6	3.0	2.5	3.6	3.2	2.3	2.3	1.4	1.2	—
純資産(株主資本)配当 率(%) (DOE) ※2	1.5	1.5	1.5	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	1.9	2.1	2.1



※1 配当利回り=1株あたりの配当金(合計) / 各年3月末日時点株価(終値) × 100

※2 純資産(株主資本)配当率 = 1株あたり配当金(合計) / ((期首 + 期末 1株あたり連結純資産) ÷ 2) × 100

※3 東京証券取引所市場第二部上場記念配当 5円を含む

※4 東京証券取引所市場第一部上場記念配当 5円を含む